

事業完了報告書（資金分配団体）

事業名:	○○○○××××事業	日付:	20XX年xx月xx日
資金分配団体名:	特定非営利活動法人○○○団体		
実行団体数:	○○団体		
実施時期:	20XX年 月～20XX年 月		

I. 事業概要（総括）

事業対象者（事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む）	事業対象者人数	対象地域
事業の総括およびその価値		

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	
-------------------	--

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

1. アウトプット（非資金的支援）

①受益者	②課題	③対象地域	④今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	⑤指標	⑥目標値・目標状態	⑦結果	⑧考察

2. アウトプット（資金的支援）※別の様式で取りまとめている場合はそちらでの代替が可能です。シートを追加し、貼り付けください。

①受益者	②課題	③対象地域	④今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	⑤指標	⑥目標値・目標状態	⑦結果	⑧考察

IV. 短期アウトカム（事業終了後に目標とする状態）*

事業終了後に目標とする状態	
考察等	

V. 資金分配団体としての非資金的支援の取り組み総括

取り組み	取り組み分類	到達度	概要および考察

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	
---------------------	--

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	
本事業を行なっている中で生じた 実行団体や受益者のもっとも重要な変化だと感じた点 (1,2団体の事例を具体的かつ自由にご記載ください)	

VIII. 外部との連携実績

活動	実績内容	結果・成果・影響等

IX. インプット（最新の資金計画書をもとにご記載ください。精算金額と一致させる必要はありません。）

	計画額	実績額	執行率
事業費 貢助金の合計			#DIV/0!
自己資金（計上している場合のみ）			#DIV/0!
合計	0	0	#DIV/0!
補足説明			

X. 広報実績

広報内容	内容
1.シンボルマークの活用状況（掲載箇所を記載してください）	
2.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	
3.広報制作物等 当該事業費を使って製作したもの	
4.報告書等	

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績 ※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。		
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。		
4.上記設問3で「一部公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。		
5.変更があった規程類に関してはJANPIAに報告しましたか。		
6.上記設問5で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください		
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。		
2.上記設問1で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください		
3.内部通報制度は整備されていますか。		
4.上記設問3で「はい」を選択した場合、設置方法を選んでください。		

5.【非公開】上記設問3で「はい」を選択した場合、内部通報制度への通報の有無を回答してください。			
6.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。			
7.上記設問6で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。			
8.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。			
9.上記設問8で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。			
10.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。			
11.上記設問10で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。			
12.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。			
13.【任意】上記設問12で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。			
14.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 外部監査	<input type="checkbox"/> 内部監査	<input type="checkbox"/> 実施予定はない
15.上記設問14で「外部監査」「内部監査」を選択した場合、実施者や実施内容について簡単に記載してください。			
16.事業完了した実行団体へ監査を行いましたか。			
17.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。			
18.【非公開】報告対象となる不正行為をJANPIAに報告済ですか。			
19.上記設問16で「不正行為があったか未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。			
20.【非公開】代表者変更・役員変更・住所変更等があった場合に通知書の提出を行っていますか。			

XII. その他

自由記述

【添付資料】

活動の様子がわかる写真 5枚程度

JANPIAの事業報告書やWEBサイト、SNS等で公開可能な写真を5枚程度（1枚2MB以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）
それぞれどんな場面の写真なのか、1枚あたり50字から200字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもってJANPIAでの使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

事業完了報告書（資金分配団体）

事業名:	○○○○ X X X X 事業	日付:	20XX年xx月xx日
資金分配団体名:	特定非営利活動法人○○○団体		
実行団体数:	○○団体		
実施時期:	20XX年 月～20XX年 月		

I. 事業概要（総括）

事業対象者（事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む）	生活貧困家庭・在日外国人・外出に困難を抱える人	事業対象者人数	526人	対象地域	資金分配団体としての対象地域と実行団体の対象地域を記載してください 資金分配団体：●●県●●市、実行団体A：●●県●●市、実行団体B：●●県●●市
<p>（総括） 新型コロナウィルスの感染拡大の影響を受ける生活困難者への居場所づくりと食支援の3団体を採択し、事業を実施した。生活困難者として、ひとり親世帯と子どもを対象に居場所となる食事場所とフードバンクを実施予定としたが、コロナ禍長期化することにより、公的機関へアクセスがしにくい老人や在日外国人の支援ニーズがあることがわかり、事業期間中に支援対象にすることにした。各団体累計でXXX食の配布を行い、居場所についてはXXX名のアクセスを得ることが出来た。</p> <p>（価値） 緊急支援として、食料や居場所を求める人に提供をできたことがまず第一の価値として上げることが出来る。また、ターゲット層へのリーチ、という意味でも価値があったと考える。相談窓口を設けたことにより、支援が届いてない層（老人や在日外国人等）からの相談が多くあった。本取り組みによりコロナ禍により、支援が届きにくい層にリーチできることはもちろん、彼らのような埋没していたニーズを明らかにすることができた。また、そこに対する実行団体以外の団体との連携してに対応ができたことにより、今後の支援基盤の拡充と体制の強化も出来たと思われる。</p>					

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	<p>（うまくいかなかったケースとその要因、学び等も記載ください） 本事業においては、コロナ禍において影響を受けるひとり親世帯や子どもに食事場所とフードバンクの支援活動を対象としたが、本設定は検討時点では妥当であったと考える。一方で、活動の中でより支援対象を必要とする層が見つかったことから、コロナ禍が長期化することにより事業途中に支援対象を追加する形となった。</p> <p>当初の課題の設定（ニーズの存在）は妥当であったと考えるが、我々が把握していた以上の様々な層について、同様の課題が発生していたことを事前把握することが出来れば、一気通貫したアプローチも可能であったと考える。実際に事業内では、外国人の支援に対し我々はノウハウを有していないかったことから、関連団体へのリサーチなどを事前に行うこととなった。今後、同様の課題にアプローチする際は、今回把握できた層への事前リサーチや団体間連携事前に織り込むことで、よりスマートな事業アプローチが検討できると考える。</p> <p>また、事業設計部において、事業を実施する中で、より有効な広報の方法があったことが把握された。当初は行政窓口でのチラシ配布でのアプローチと、オンライン（SNSやチャットツールなど）を中心としていたが、地元の飲食店や教会など、受益者がリアルに立ち寄る実際の場所について説明員を配置する、もしくはその方に説明し、広報してもらう、というアプローチが実際は有効であった。今後の事業実施に活用してみたい。</p>
-------------------	---

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

1. アウトプット（非資金的支援）

①受益者	②課題	③対象地域	④今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	⑤指標	⑥目標値・目標状態	⑦結果	⑧考察
中間支援者	者事業実施上 の困難	●●県●●市	対象地域において類似事業との連携が進み、体制の強化が図られる	会議数	3団体で月1回、意見交換を実施している	連携が進み、生活困難者情報などが共有される体制が構築された。	団体間での情報共有はなされたようになった。次のアクションとして、今回の連携をリードする立場を明確にすることと、包括的な仕掛けを行うための協議態勢の構築を目指していく必要がある

2. アウトプット（資金的支援）※別の様式で取りまとめている場合はそちらでの代替が可能です。シートを追加し、貼り付けください。

①受益者	②課題	③対象地域	④今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	⑤指標	⑥目標値・目標状態	⑦結果	⑧考察
生活困窮者	相談先の不足	●●県●●市	生活困難者の相談窓口を設け、相談体制が構築される	相談件数	3団体で10～15件/週の相談対応を実施している	週X件、累計XX件の相談を対応した。うちX件は他支援団体へ連携し包括的に対応した	相談窓口での相談者数は少なかったが、口コミなどで訪問した訪問者は多く、その際の個別対応を実施した。簡単な案内パンフレットを作成し、支援内容などをまとめた

IV. 短期アウトカム（事業終了後に目標とする状態）*

事業終了後に目標とする状態	・ひとり親世帯と子どもを対象に居場所となる食事場所とフードバンクを実施ができる。 ・相談窓口が機能し、他の団体とのネットワークが構築できている。
考察等	・短期的には食事とフードバンクの実施ができたが、助成終了後の実施に向けた出口戦略へのフォロー（資金調達の体制構築）までは十分に達成ができないない ・相談窓口については一定の機能が果たせた。また、関連団体とまず顔の見える関係を構築し、情報連携が個人単位で出来る状態となり、次のステップに向かうための土壌はできたと感じている ・支援基盤、体制の強化は十分でない。広報部分や組織運営の部分（規定類の整備とそこに基づく事業運営）は充実した一方で、事業的側面はまだ道半ばである。特に、資金的部分と事業の組み立てを行なう部分について、中核人材が各団体にはまだ不足している状況にある

V. 資金分配団体としての非資金的支援の取り組み総括

取り組み	取り組み分類	到達度	概要および考察
感染リスク対策のためのチェックシートやマニュアルの整備	事業運営支援	想定以上の成果があった	関係支援団体などへ共有が出来たことにより、地域全体で安心安全な支援の提供が出来た
対象地域において類似事業との連携	ネットワーク形成・CI促進支援	想定通りの成果	コロナの影響で勉強会の開催数が減ったが、意見交換や情報交換は進んだ。

--	--	--

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	相談窓口を設立し、関係支援団体からの問い合わせや、老人や在日外国人からの相談も多く、意見交換や情報交換が出来たことで、多方面での関係構築や連携が出来た。SMSなどのメディアでの発信も強化したこと、情報発信の強化が出来た。
---------------------	--

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	<p>コロナ禍の想定以上の長引きにより、緊急支援を必要としている層の状況はまだ十分に改善しておらず、むしろ支援を必要とする人数は増加している印象にある。コロナの一時的な落ち着きにより、居場所問題は徐々に解消されつつあるが、時差的に遅れてくる就業問題についてはより悪化をしている状態であり、緊急支援の次のステップとして、大きなニーズを感じている。また、緊急支援の部分についても、コロナの落ち着きから、資金の流れが徐々に緊急支援から通常支援に移行しつつある現状にあり、フードバンクや子ども食堂などの金銭的支援は事業開始時より手薄になっていると感じ、ニーズとのギャップを感じている。</p> <p>次のアクションとして、・今回リーチした層への就業支援を含めた包括的な支援の実施 ・支援スキームの連携構築 ・緊急支援団体に対する資金調達的分野での組織基盤強化の実施を目指す。</p>
本事業を行なっている中で生じた 実行団体や受益者のもっとも重要な変化だと感じた点 (1,2団体の事例を具体的かつ自由にご記載ください)	<p>・実行団体XXXについて、XXXの活動を行なう中で、フードバンクに訪れた受益者と会話し彼らの実情を把握する中で、他の就業支援組織に連携をする機会があった。その受益者から、就業に関する連絡を受け取った際に、事業運営者が「食に関する支援者だと私たちは自分たちを位置づけていたが、支援を必要なひとの情報を集める窓口としての役割を私たちが果たすべきなのかもしれない。XXやXXの領域の支援先をもし知っていたら教えてくれないか」という発言をし、その後は実際に包括的な支援の集まりに参加するようになった。地域における困窮者支援の核の担い手として自覚をした、という部分が、本地域におけるもっとも重要な変化であったと感じている。</p>

VIII. 外部との連携実績

活動	実績内容	結果・成果・影響等
子どもの居場所	地域にある子ども食堂関係者との意見交換	他の子ども食堂の状況を聞く良い場となり、継続して実施予定
コロナで困窮している層へのフードバンク	他地域での先行事例を共有し、フードバンク実施に向けた検討会の実施	具体的な案はないが、他地域の事例を確認でき、参考になった

IX. インプット（最新の資金計画書をもとにご記載ください。精算金額と一致させる必要はありません）

事業費	助成金の合計 自己資金（計上している場合のみ）	計画額	実績額	執行率
		60,000,000	55,000,000	91.7% #DIV/0!
合計		60,000,000	55,000,000	91.7%

補足説明

広報内容	内容
1.シンボルマークの活用状況（掲載箇所を記載してください）	○○食堂の購入什器（冷蔵庫、食器棚）
2.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	・○○新聞夕刊（発行部数約1万部） ・テレビ○○ 地域ニュース夕方5時
3.広報制作物等 当該事業費を使って製作したもの	・支援内容案内パンフレット（日・英）
4.報告書等	・事業進捗レポート

X. 広報実績

①規程類※の整備実績	状況	内容
※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)		
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	完了	
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	全て公開した	
4.上記設問3で「一部公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。		
5.変更があった規程類に関してにJANPIAに報告しましたか。	変更があり報告済	
6.上記設問5で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください		
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.上記設問1で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください		
3.内部通報制度は整備されていますか。	はい	

4.上記設問3で「はい」を選択した場合、設置方法を選んでください。	外部に窓口を設置	
5.【非公開】上記設問3で「はい」を選択した場合、内部通報制度への通報の有無を回答してください。	通報はなかった	
6.利益相反防止のための自己申告を定期的に行ってていますか。	はい	
7.上記設問6で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。		
8.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
9.上記設問8で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。		
10.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。	はい	
11.上記設問10で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。		
12.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	
13.【任意】上記設問12で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。	コンプライアンス委員会の開催頻度を月〇回に増やした	
14.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	外部監査 内部監査 実施予定はない	
15.上記設問14で「外部監査」「内部監査」を選択した場合、実施者や実施内容について簡単に記載してください。		
16.事業完了した実行団体へ監査を行いましたか。	未実施(状況を右に記載)	日程調整中
17.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
18.【非公開】報告対象となる不正行為をJANPIAに報告済ですか。	不正行為はなかった	
19.上記設問16で「不正行為があったか未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。		
20.【非公開】代表者変更・役員変更・住所変更等があった場合に通知書の提出を行っていますか。	変更があり報告済み	

XII. その他

自由記述

【添付資料】

活動の様子がわかる写真 5枚程度

JANPIAの事業報告書やWEBサイト、SNS等で公開可能な写真を5枚程度（1枚2MB以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）
それぞれどんな場面の写真なのか、1枚あたり50字から200字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもってJANPIAでの使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。